



知夫小中学校
Tel 08514-8-2015
Fax // 8-2312
〒684-0100
知夫村 1053-1
[HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

一学期を振りかえって

校長

新型コロナウイルス感染症の対策が緩和されたこともあり、学校での活動や家庭・地域と連携して行う活動等が徐々にコロナ禍以前の状態に戻りつつあることを実感しています。各種大会が有観客となり盛り上がりを見せましたし、総合的な学習やクラブ活動等では地域の方々と一緒に活動することもできました。

さて、今年度のスタートにあたり、始業式では児童生徒に向けて「主体的に取り組むこと。」「まずは自分でやってみること。」「取り組んだ過程（道のり）を大切にすること。」「力を合わせてやり遂げること。」「について話をしました。これらについて課題は様々にあるとは思いますが、私なりに印象的な場面をいくつか紹介します。

「主体性」
授業を参観する機会が度々ありました。小学部の授業では、国語や算数の授業でガイド役の児童が堂々と学習の進行をする姿や積極的に対話しながら活動する姿が見られました。また、中学部の授業では、各教科で課題解決に向けて考える、調べる、議論する、といったことに真剣に取り組む生徒の姿が見られました。

「力を合わせる」
各種大会の壮行式で、知夫小中学校ならではの温かい雰囲気を感じることができました。隠岐ブロック中学ソフトテニス大会の壮行式では小学部高学年が応援リーダーとなり、島前バスケットボール大会の壮行式では低学年が応援リ

【学校教育目標】

未来を切り拓く
心豊かでたくましい
知夫の子どもを
育成する

【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・共に生きる子ども
- ・たくましく
生きる子ども
- ・ふるさとを
愛する子ども

ダーとなり、精一杯の表現で選手を励ました。それらの報告会では、選手から全校児童生徒へ感謝の気持ちと大会を振り返って感じたことを個々の表現で伝えました。

「過程（道のり）」

校内マラソン大会では、自己記録更新を目指して一生懸命に走る姿、必死の表情で最後まで走りきる姿に感動しました。保護者や地域の皆さんの応援も児童生徒の力になりました。この時の頑張りや周囲の応援に支えられたことも大きな要因ですが、最も大きな要因は普段のランタイム（小学部）や体力作り（中学部）の取組だと思っています。子供たちが、校内マラソン大会に至るまでの過程（道のり）を一生懸命に取り組んだ成果だと思っています。

残りの「まずは自分でやってみる」については、ぜひお子様に聞いてみてください。子供たちなりにチャレンジしたことがたくさんあったのではないかと思います。

さて、長い夏休みに入ります。第一に、健康で安全に過ごし、全校児童生徒と全教職員が元気に二学期の始業式を迎えることを願っています。そのために夏休みの生活や水泳の心得を意識して過ごしてほしいと思います。また、夏休み期間を利用して、生活習慣や学習習慣などについて、一学期に自分の課題として思い浮かべたことや二学期にはできるようにしたいことに取り組んでみてほしいと思います。人に言われて取り組むのではなく、「自分で考えて、まずは自分でやってみる」ことをしてほしいと思います。少しのことでもよいので、自分の「プチ改革」に取り組んでみましょう。

最後に、保護者・地域の皆様には一学期の教育活動に對しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

小学部五・六年 修学旅行

五・六年担任

六月二十八・三十日の三日間、修学旅行で広島に行きました。一日目は雨の中、来居港で出発式を行いました。バスで移動し、午後には平和記念公園に到着。ガイドさんから原爆が落ちた時の広島の様子などを聞き、戦争について考えた一日になりました。二日目は船に乗り、宮島へ行きました。厳島神社や宮島水族館を見学しました。お昼は広島焼を食べて宮島を満喫しました。夜にはマツダスタジアムで野球観戦をしました。雨で一時中断となりましたが、カープファンの皆さんと一緒に応援できて楽しかったです。三日目は前日の疲れもあり、バスの中ではぐっすり眠っていました。そしてみるくの里に到着し、色々なアトラクションに乗って楽しみました。

この修学旅行が子ども達の中に思い出として残っていくと思います。修学旅行の実施に際しまして、ご理解・ご協力をいただきました保護者や関係者の皆様、ありがとうございます。以下、旅行中の日記を紹介します。

小学部六年

今日はみるくの里にいった。愛媛の学校の子と一緒に一回転するやつと、タコ、ウオータースライダー、ダイナソーパーク、バイキングに乗った。この中でも特にバイキングとウオータースライダーが楽しかった。絶叫系が好き。ジェットコースターに乗れなかったのが残念である。学んだことは、人には色々な出来事、出会いでその後の人生が大きく変わるということ。なぜならもみじ饅頭のお店の人にインタビューをした時、その人が「社会科見学でこの店に来

たことがきっかけでこの店で働いている。」と語っていたからだ。人とはおもしろい。寮生にもみじ饅頭を買った。おいしいと喜ぶだろう。この三日間で水族館が一番楽しかった。また色々な水族館に行きたい。

小学部五年

今日は平和記念公園に行きました。初めて原爆ドームを見ました。ずっと残っているのがすごいなと思いました。人だけでなく植物も放射線で被爆することが分かりました。手紙や鐘を鳴らす時には気持ちを込めました。平和学習で調べたこと以外のことも知れたので、よかったです。広島は平和のための取り組みが多いのがよいと思いました。バスや食事の時も楽しかったです。



島前フレンズ合同学習

おひさま学級担任

七月四日に島前フレンズの第一回合同学習が知夫で行われました。『SURUDAWAI』でシルクスクリン体験をしました。島前の各小中学校から八名の児童生徒が参加し、今年初めての顔合わせではありませんが、みんなで仲良く協力して活動することができました。当日は、「しっかり話を聞いて仲良く活動しよう」というめあてで頑張りました。思い思いの色で楽しく作り、最後は素敵な作品に仕上がりました。この体験を通して、子ども達の仲も更に深まり、素敵な活動になりました。

おひさま学級

つくったときがたのしかったです。ドライヤーでかわかすのをがんばりました。なんかさんとなさんに「かっこいいね」といわれたからうれしかったです。



保健体育委員会イベント

担当

保健体育委員会の目標「楽しく体力を向上させる」を目指して全校に向けたイベント活動を行いました。内容は三グループに分かれての縄跳びと、跳んだ後にストレッチを行い、ストレッチの重要性に気づいてもらう活動でした。計画段階では、委員の役割分担や思いがうまくまとまらず、苦労した部分もありましたが、リハールを繰り返し、各グループに長縄跳びを練習してもらったなどのおかげで、本番ではスムーズに進めることができ、全校が楽しく取り組みことができました。

小学部五年

委員会のイベントをしました。当日までの準備などは協力してできたけれど、説明する内容を提出日までに出来なかったため、次からは間に合うようにしたいです。本番は、他の学年に指示を出せたので良かったです。説明の時は、早口になってしまったし、声が小さかったので気をつけたいです。でも、全校の方を向いて説明できたのいいと思います。練習したことがほとんどできたので良かったです。

中学部三年

今回のイベントは大縄跳びをし、体力向上と小中の仲を深めるという目的で行いました。準備から本番まで、委員全員が協力して行うことができ、目的の体力向上と、小中の仲を深めることができたと思います。前期のイベントは最後だったので、後期の人にも楽しい企画をしてほしいです。



文化福祉委員会イベント

担当

七月十一日に文化福祉委員会が本に関するイベントを図書館で行いました。「全校児童生徒に本への興味を持ってもらい、本をより多く読んでもらうこと」を目的として、本に関するクイズや本探しを行いました。準備段階では何度もしゃべりながら行い、休み時間も集まって準備を行う姿が印象的でした。

中学部二年

当日はイベントに参加した子ども達の表情も良く、楽しんでいる様子が多く見られました。これらの経験を今後の活動にも生かして欲しいです。

今回のイベントではみんなに本についてより知ってもらうためにクイズなどを考えました。前回のイベントの時にした反省を生かして今回のイベントではクイズを増やすなどの工夫ができました。全体を見てみると、みんなすごく楽しそうにやっています。嬉しかったです。また、今回のイベントで出た反省を次のイベントに生かせるように頑張りたいです。

中学部二年

今回のイベントでは、参加したみんなが楽しんでくれたと思うので良かったです。良かった点も多くありましたが、長い準備期間があったのに準備ができてなく本番に慌てたところもあったので、次回は改善できるようにしたいです。



小学部プール学習

担当

七月十四日と十九日に、西ノ島町民プールにてプール学習を行いました。低学年は小プールで水をかけたり、浮いたり、水の中を走ったりなどの「水遊び」、中・高学年は大プールのレーンを使い、バタ足やクロール、平泳ぎなどの「水泳運動」に取り組みました。プール学習を通して、子どもたちは元気いっぱい水に慣れ親しむことができました。機会があれば、夏休み中も安全に気をつけて水泳や海水浴を楽しんでほしいと思います。

